

2024 年度実施概要

学校名

鹿児島県立与論高等学校

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 地域の課題を通して課題研究の素地を身につける	1	総合的な探究の時間
2. 各自で見つけた課題を解決することで研究を進化させる	2	総合的な探究の時間
3. これまでの研究内容を研究概要としてまとめる	3	総合的な探究の時間

取り組みの概要

与論高等学校では総合的な探究の時間「ゆんぬ」を中心に、全学年がそれぞれ探究活動に取り組んだ。地域サポーターの協力の下、与論独自の文化や環境について、学びを深めながら研究活動を行った。1 学年はグループ、2 学年は個人での活動を通して、地域の課題を考え、フィールドワークやアンケート等を実施しながら探究活動に取り組んだ。

また、与論町海洋教育推進協議会と適宜連絡を取り、事業を円滑に進めた。本年度も与論高校全体の取り組みとして次のような活動を実施した。

(1) 探究シンポジウムの実施

年度初めの探究導入として、様々な領域で活動している地域住民及び大学の先生方と意見交換を行う「探究シンポジウム」を開催した。前半は「教えて先生！興味を探究するってどんなこと！？」というテーマで様々な分野について研究している大学の先生方に、それぞれの研究についての話を聞き、研究の進め方や深め方について深めた。後半は、「与論島の良い点・改善点をたくさん語ろう！」というテーマで、ワールドカフェ形式で議論を行った。



(2) 中間ワークショップの実施

夏休みに行ったフィールドワークの実践内容について、9 月に中間報告会を行った。地域の方々や大学の先生方に協力をいただき、これまでまとめた結果についてグループや個人で報告を行い、その後の研究を深めていくためのアドバイスをいただいた。今年度は、大学の先生方とオンラインでつながり、助言をいただくこともできたため、より専門性の高い報告ができた。



(3) 校内発表会の実施

12 月に今年の探究活動のまとめの場として実施した。1 年生はスライドを利用した発表、2 年生はポスターセッション形式の発表を行った。地域サポーターの方々だけではなく、保護者や地域の方々にも自由に来ていただき、ご意見をいただいた。ほかの生徒たちの研究内容について発表を聞く良い機会ともなった。



2024 年度実施概要

(4) 外部での活動への参加

今年度も、1月に行われたヨロン海洋教育フェアにて3グループがスライドでの研究発表を行った。また、2年生は校内発表会で作成したポスターを会場内に掲示し、小中学生や地域の方々にも見ていただいた。3月に行われる「高校生サミット in 奄美」においても、代表の1グループが研究発表を行う予定で、研究を進めている。



(5) 東京大学サイエンスキャンプへの参加

東京大学大気海洋研究所が主催した8月のサイエンスキャンプ夏季集中講座に、今年度も2学年が5名参加した。採水にあたっては与論町役場の方々にも協力をいただき、与論島内各地で行うことができた。柏キャンパスでの研究も実施することができた。研究活動についての報告も、8月に町役場及び高校、9月の文化祭、1月の海洋教育フェアで発表を行い、また、壁新聞も2ヶ月に1回ほど発行している。

昨年度サイエンスキャンプ夏季集中講座に参加した3年生は、さらに研究を深め、5月に行われた日本地球惑星科学連合2024年大会に参加した。



■メディア掲載情報

掲載日	媒体名(新聞名・雑誌名・テレビ局や番組名など)	記事タイトル	URL ※webで閲覧できる場合のみ
6/2	南海日日新聞	「与論の水」テーマに発表	https://www.nankainn.com/news/education/
8/29	奄美新聞	与論高校、古仁屋高校生	与論高校、古仁屋高校生 - 奄美新聞
11/17	南海日日新聞	探求へ多角的な視点得る	https://www.nankainn.com/news/education/

受賞歴

受賞日	賞の名称	受賞内容	URL
令和6年7月1日	日本地球惑星科学連合2024大会パブリックセッション「高校生ポスター発表」	努力賞	